

# CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2008年2月20日発行 編集・発行：中央教育研究所(株) 〒732-0811 広島市南区段原2-15-5 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp/>



## 感情の論理 vol.12 「実践編—案内文—」

このメール・セミナーを始めて1年が経ちます。思えば「あっ」と言う間ですね。2月は受験本番と同時に新規募集の月です。超多忙とは思いますが、元気に乗り切ってください。これまで「感情の論理」について概要をお話してきましたが、今年は「実践編」をお届けします。

「感情の論理」とは、簡単に言うと「相手の感情に配慮して行動する」という当たり前のことです。ところが、当たり前だけに忘れがちになっているのも事実です。

その例を紹介します。次の文章は、私が顧問を務めている異業種交流会から届いた「案内文」です。まずは読んでください。

〇〇会

### 20年度グループ会及び決起集会のご案内

平素は〇〇会の運営・推進にご理解、ご協力を賜りましてありがとうございます。下記の通り、来期（20年度）新□□グループによる顔見せ及びグループ会を開催致します。急なお願い、並びにお忙しい中恐縮でございますが、ご参集いただきますようお願い申し上げます。

記

日時：平成20年1月31日（木）19：00～

場所：〇〇〇〇 愛知県～

電話 〇〇〇

会費 5,000円

\*出欠はFAXで、1月29日（火）までにご連絡下さい。

A4版1枚に、これだけの文面です。いわゆる「定型」の案内です。さて、こうした案内文が届いたとき、人はどう思う

のでしょうか。特に、活動にあまり熱心でない人は。

もちろん、形式は重要です。しかし、時として「形式」は単なる情報提供になってしまい、相手の意欲を引き出すことができません。そればかりか、ややもするとマイナスのイメージを持たれてしまいます。つまり、今回の場合…「ああ、面倒だな」という印象です。

塾の現場でも、例えば新学期の案内、例えば春期講習の案内で同じことが起こっています。その案内を呼んだ保護者（ほとんどの場合、母親）に「ああ、またお金が掛かる」と思わせたいではありませんか。冷蔵庫にマグネットで貼り付けたまま忘れられていませんか。受講率が悪い、申し込み書の回収率が悪い原因が、あなたの書いた文章そのものに潜んでいたりするのです。

コミュニケーションとは「意思を伝えて、あなたの希望するように相手に行動してもらうこと」です。

なぜ春期講習の案内を出すか。

当然、受講してもらいたいからです。ならば、受講したくなるような案内を作らなければなりません。そうでなければ、案内を出す意味がありません。

上記の例で言うと、グループ会に参加したくなるような文面にしなければならぬのです。

では、どうするか…。次回、見本を紹介します。それまでに、「あなた」だったらどんな「案内文」を書くか考えてみてください。

今月の気になるハナシ

## これで「生きる力」は育めますか

2月15日文科科学省は、30年ぶりに主要教科を中心に授業時間数と指導内容を増やし、いわゆる「ゆとり教育」を見直した学習指導要領改訂案を公表しました。

### 1. 「理念」は変わらない？

『「生きる力」をはぐくむ』

現行の学習指導要領の基本理念だと、すぐわかった方が何名いるでしょうか。この基本理念、新しい指導要領でも継続されます。「生きる力」とは、身体的な生命力であり、問題対応・解決力であり、豊かな人間性のことを指します。そしてこれらの低下が、現在の教育批判・非難の理由にもなっています。そこで今回の改訂は、中教審によると、現行の基本理念である「生きる力」を実現するための手段として行われるのです。

### 2. 「ゆとり」から「つめこみ」へ？

「授業時間増」、「学習内容増」などから「やるが多くなる」、つまり「つめこみ教育」への転換かと、あおる報道があります。改訂案を見ただけで、そのようなことが本当に言えるでしょうか。今回の改訂案では「言語力」の育成に注目し、国語・英語だけではなく、ほかの教科でも「論述」が強化されます。このために主要5教科の授業時間は増えることになり、また、体力低下防止の観点から、保健・体育の時間も増えます。

### 3. 理数を中心に。

今回の改訂で総授業時間数は、小学校で約5%、中学校で約4%増となります。さらに「言語力」の育成とともに重視されたのが、「理数教育の充実」です。理数科目に対する興味・関心の低下は以前から叫ばれていましたが、PISAや全国学力テストなどの結果から、成績も落ちていることが、明らかになりました。これらの結果をうけ、授業時間が算数・数学は約18%、理科は約23%増えることとなります。

また、「場合によっては、3でも可」など、あいまいだった円周率の扱いが『3.14』に統一される、『台形の面積の求めかた』が通常の学習内容に入るなど、学習内容が充実することも話題となっています。し

かし、学習内容に関しては、基礎力の充実が優先と、授業時間増の割合に比べれば、抑え目に設定されているようです。

### 4. 来年09年度から部分実施。

当然ですが、改訂案を一気に実施すると、基礎を学ばないまま、上の学年で発展的な内容が出てくる場合が、発生してしまいます。そこで09年春から、前倒し、修正可能な部分については教え始めます。ただし、単純に授業を増やすと教員の手当がつかないなど、いろいろな問題を抱えています。そのため今後減ることになる総合学習や中学の選択教科の時間を、増えた時間に割り当てて対応することになると考えられます。

#### 雑感

当メルマガは、過去に2回、学習指導要領改訂について取り上げてきましたが、ようやく今回の公表により具体的な内容になってきたのではないのでしょうか。

また今回の改訂で「道徳推進教師」なるものを置くとしていますが、誰が行うのでしょうか。現場の教員が時間がないのは明白なのに、「兼任」させるのでしょうか。

こういう部分があると、まだまだ関心事として目が離せそうにありません。